

平成31（2019）年3月

軽自動車新車販売速報

平成31（2019）年4月1日
一般社団法人 全国軽自動車協会連合会

全国軽自動車協会連合会（会長：堀井仁，略称：全軽自協）の調べによる平成31（2019）年3月の軽自動車新車販売台数（新車新規検査台数，トレーラー等を除くナンバーベース）は，全体で223,438台，前年同月比2.5%減となり，9ヵ月ぶりのマイナスとなりました。

車種別では，乗用車は175,250台で前年同月比4.6%減（2ヵ月連続減），貨物車は48,188台で同5.8%増（9ヵ月連続増）。貨物車の内訳は，ボンネットバン6,678台で前年同月比495.2%増（9ヵ月連続増），キャブオーバーバン21,589台で同9.1%減（5ヵ月連続減），トラック19,921台で同3.7%減（9ヵ月ぶり減）となっています。

この結果，平成30年度（平成30年4月～平成31年3月）の新車販売台数は1,922,997台，前年度比3.4%増となり，2年連続のプラスとなりました。

年度販売台数の内訳は，乗用車が1,485,865台，前年度比2.2%増（2年連続増），貨物車は437,132台で同8.0%増（2年連続増）。貨物車の内訳は，ボンネットバン49,196台で同241.9%増（2年ぶり増），キャブオーバーバン202,201台で3.5%減（2年ぶり減），トラック185,735台で同2.6%増（2年連続増）となっています。

なお，全国軽自動車協会連合会では平成31年度（平成31年4月～令和2年3月）の軽自動車新車販売予測台数を186万台（前年度比3.3%減）としました。